

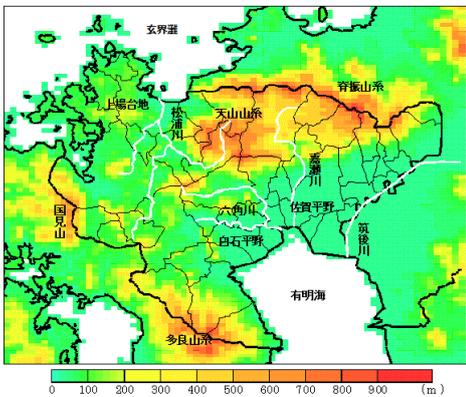


みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

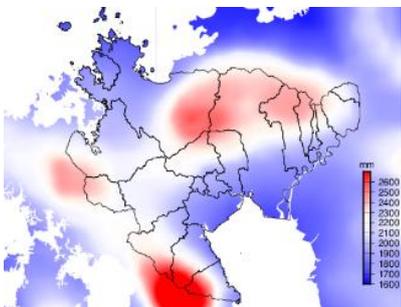
## 今年の梅雨の大雨・キキクル

講師は佐賀地方気象台のリスクコミュニケーション推進官 山元孝一さん、要配慮者対策係 山田祐子さん。元々梅雨入りを前に 6 月 4 日の日曜教室を予定していましたが、台風 2 号の接近や例年より早い梅雨入り等から延期しました。このため、今年の防災対策の一助として、あらかじめ佐賀地方気象台からのレジュメのポイントのみ掲載することにしました。日曜教室は 6 月 28 日に開催します。於:サポートセンター 10 時~12 時

### 佐賀県の地勢と雨の特徴

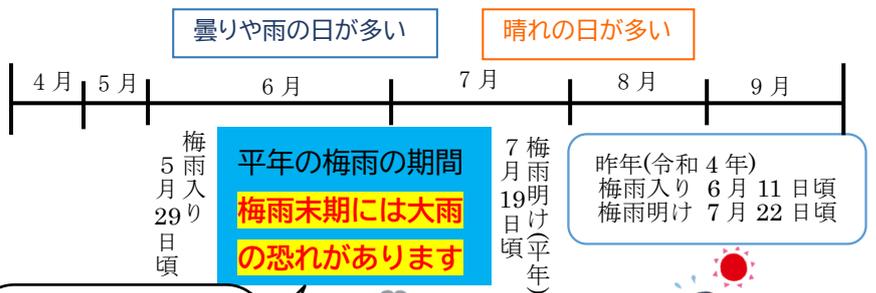


- 佐賀県の北東部から中央部にかけて 1000m 級の脊振山系と天山山系が、南西部には 1000m 級の多良岳山系、西部には国見山がある。
- 山岳部を源流として、嘉瀬川、六角川、松浦川などの河川が有明海及び玄界灘に注いでいる。
- 山地は南北の奥行きが浅いため、ここを源流とする川は、流域が狭く、支流では急勾配で流れの速い河川がある。



佐賀県の年降水量

- 降水量は、標高の高い山岳部に多く、玄界灘や有明海沿岸は相対的に少ない。
- 南部の佐賀平野は大部分が 1800~2000 ミリで、北部沿岸の唐津は 2000 ミリ弱、西部の伊万里は 2200 ミリ程度、嬉野では 2300 ミリを超える。
- 南部の多良岳周辺で降水量が多いのは、前線や低気圧の接近時等の際、湿った南西風が山岳に吹き付けるからである。



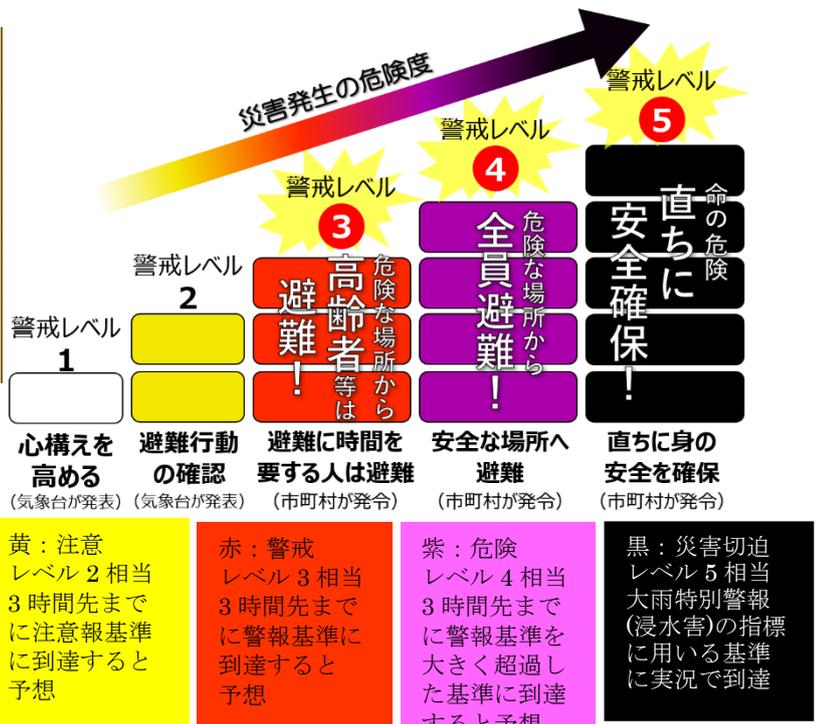
佐賀の 6~7 月の降水量の平年値は約 690 ミリ 年降水量の約 3 割が 6~7 月に集中して降っている (年降水量 約 1950 ミリ)



気象災害には起こりやすい場所がある。

岸や溪流の近く	土砂災害
川の近くの低い場所	川が溢れて浸水
海岸・堤防の近く	高波や高潮
都市部の地下街	大量の雨水で水没

5段階の警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします



## 後に立つ 新シリーズ【12】

### 「補聴器で音は聞こえるが、言葉の聞きとりには限界があるケース」

第12回は、80歳代 補聴器をされている女性の相談です。「家庭内や地域の集まりで聞きとりが悪く、会話が噛み合っていない」とご家族や担当の民生委員さんが心配され、来館されました。確認したところ、約2か月毎に購入元で補聴器のメンテナンスを受け、調整もされている状態でした。センターで改めて測定した結果、言葉を聞きとる力が低下しており、補聴器でいくら音を大きくしても、言葉の聞きとりには限界があることが分かりました。

### ご家族にも、伝わりやすくなる工夫を伝える

このため、ご家族にも、語音明瞭度の低下から考えて、補聴器装用だけでは十分に情報を得られにくいこと、環境設定や話しかけ方の工夫が必要であること、具体的に次のような留意点を伝えました。

- ・周りの騒音や反響を減らす。・話のテーマを先に伝える。
- ・呼びかけや肩をたたくなど、注意が向いてから話し始める。
- ・自然なスピードで、はっきりと話す。
- ・正面から、口の形や表情を見せながら話す。
- ・文字やイラストを示すなど視覚からも伝わるようにする。
- ・しっかりと伝わったかどうか確認をする。

周囲の方が少し気を付けることで、聞こえやすさが増します。家族や地域で情報を共有していくことが大切です。



### 図書館職員向け研修(読書バリアフリー検討会)

5月26日



県内10か所の図書館から23名の図書館司書が参加されました。



### 巡回聴こえの相談

要予約

7月26日(水) 10~15時 唐津市障がい者支援センター「りんく」2階小会議室

8月30日(水) 10~15時 鹿島市保健センター1階耳検査室

編集後記：昨年より2週間早い梅雨入り、梅雨明けも早まるでしょうか…(m)

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

### <開館時間>

9:30 ~ 18:00

### <閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始

## 第1回運営委員会 5月31日 13:30~15:10

(委員長 佐賀大学芳野教授)

委員13名出席(うち2名オンライン)欠席1名 4年度の実績報告、センター利用人員、5年度事業計画について審議されました。

主な質疑は次の通りです。

- ・手話通訳者全国统一試験の合格率が全国1位62.5%(全国18.3%)となっているが、現在の派遣登録者状況
- ・手話や要約筆記者講座の受講料
- ・各種相談体制と市町・社協との連携体制
- ・全スポの情報保障サポーターの申し込み状況
- ・多久高、佐賀女子高では手話奉仕員講座が行われている。JOCや家庭クラブへの掘り起こしを働きかけたらどうか
- ・手話通訳者養成カリキュラムが改正作業中であり、関連情報に注意しておくこと等、幅広く審議されました。



## ● 手話通訳士全国统一試験対策講座



県内手話通訳士は現在10名、手話言語条例が制定された佐賀市長記者会見にも初登場。講師には東京手話通訳等派遣センター飛山氏を迎えます。試験は7月24日に学科、10月2日に実技が実施されます。

## ◆ 要約筆記者養成講座 5月27日

サポートセンターで6名、唐津会場で5名オンライン受講。

11月25日まで、毎週土曜日の長丁場です。



## ■ 企業職員対象手話講習会

今回は佐賀地方气象台、久光製薬、全スポ実行委員会から4名受講されました。

